

葉月、八月です。待望の夏休みです。

はじめての18歳選挙権の国政レベルの選挙、参議院選が終わりました。18歳の投票率は50%を超えましたが、若者全体としては予想通り低調でした。選挙の結果、改憲派が三分の二を超えるなど、新たな状況が生まれつつあります。政治の季節が始まりそうですが、経済のクールヘッドで、それをどこまで合理的にみることができるか、経済教育の新しい課題と言えるでしょう。

一方、夏は研修の季節。夏休みの経済教室もはじまります。そんな暑い夏、今月もネットワークの活動を報告するとともに、授業に役立つ情報を提供いたします。

---

【1】最新活動報告

7月の活動を報告します。

【2】イベントカレンダー

夏の経済教室の状況、部会の案内などを紹介します。

【3】授業のヒント

---

【1】最新活動報告

---

最新のニュース、6月末から7月に行われた活動などを報告します。

■夏の経済教室がはじまります。まだ間に合います。

受付状況です。7月28日現在

名古屋中学向け 8月4日(木) 53名

名古屋高校向け 8月5日(金) 49名

大阪中学向け 8月8日(月) 127名

大阪高校向け 8月9日(火) 90名

東京高校向け① 8月18日(木) 220名(受付終了)

東京高校向け② 8月19日(金) 187名(受付終了)

東京中学向け① 8月22日(月) 176名

東京中学向け② 8月23日(火) 124名

東京の高校は受付終了ですが、名古屋、大阪、東京中学はまだ余裕があります。周辺にお声をかけていただければと思います。申し込みは、下記東京証券取引所HPからお願いします。

<http://www.jpx.co.jp/learning/education/school/for-teachers/index.html>

■大阪部会(No.49)を開催しました。

日時: 6月25日(土) 18:00~20:15

場所: 同志社大学大阪サテライトキャンパス。出席者 14名。

(1) 篠原代表から活動報告と野間敏克氏(同志社大学)からの札幌部会報告がありました。

- (2) 山本雅康氏（奈良学園中高）から、数研出版のパンフレット AGORA が紹介されました。同誌には、山本先生の公共財ゲームの実践報告、大塚雅之氏（三国丘高校）実践報告が掲載されたことがあります。山本先生からは北海道研修旅行の成果も報告されました。
- (3) 河原和之氏（立命館大学等）からは、アメリカの貧困問題・格差問題をテーマとしたジグソー学習の授業例が紹介されました。
- (4) 安野雄一氏（大阪教育大付属平野小学校）から「価値判断・意思決定力を育てる社会科授業」と題する報告がありました。18歳選挙権が与えられ、生徒たちの「公民的資質」を早くから育成する必要性が増していることを意識した教育実践です。
- (5)最後に梶谷真弘氏（茨木市立南中学校）から「徳川吉宗は名君か？ー経済の視点を取り入れた歴史学習」と題されたアクティブラーニングの授業実践が報告されました。  
それぞれの実践の詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka49report.pdf>

■名古屋部会（No.7）を開催しました。

日時：2016年7月2日（土） 15時00分～17時00分

場所：椋山女学園大学 現代マネジメント学部棟

- (1) 水野英雄氏（椋山女学園大学）より「オープンノートによる商品企画ー売れるモノを考えようー」をテーマに最新の ICT 機器であるオープンノートを活用した授業実践の紹介がありました。  
この実践は、オープンノートを使用して自由に商品企画の提案を行わせるもので、最初に、日本経済やアジア経済の現状に関する講義や企業見学などを行い、学生がビジネスプランをたててゆく形をとっています。

今回の部会では、参加者の先生方が実際にオープンノートを使用してビジネスプランを考え、高齢者向けのサービスやスマホアプリによるサービスといった各自の提案をリアルタイムで比較しながら討論することを体験しました。

水野先生からは、オープンノートは経済学の理論の講義でグラフを書かせることに応用できるのではとの提案もありました。

- (2) 経済分野の教育に関して自由にディスカッションが行われました。

- ①イギリスの EU 離脱やアメリカの大統領選挙のような時事的な問題についての経済面からの扱い方
- ②授業での新聞の活用方法
- ③生徒に興味を持たせるテーマとしての携帯電話や電気の料金、等について活発な議論が行われました。

- (3) 野間敏克氏（同志社大学）より経済教育ネットワークの他の部会の教材西村理氏（同志社大学名誉教授）より経済教育ネットワークの活動全体について紹介がありました。

内容の詳細については以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/nagoya/Nagoya007report.pdf>

---

## 【 2 】 イベントカレンダー

---

\* イベント予定です。

■ 冬の経済教室を開催します。(既報)

日時： 2016年12月27日 13時00分～16時45分

場所： 慶應義塾大学 三田キャンパス 東館ホール

内容、参加方法は以下をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/keizaikyousitu/2016%20keizaikyoushitsu/2016GeoFuyu/keizai.pdf>

\* 定例会会のお知らせです。(開催順)

■ 東京部会 (No.85)を開催します

日時：2016年9月3日(土) 14時00分～16時30分

場所：日本大学経済学部 本館2階中会議室(予定)

内容、参加方法は以下をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo085flyer.pdf>

■ 札幌部会 (No.16) を開催します

日時：2016年9月17日(土) 14時30分～17時00分

場所：キャリアバンクセミナールーム

札幌市中央区北5条西5丁目7 Sapporo55ビル5階

内容、参加方法は以下をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/Sapporo/Sapporo016flyer.pdf>

■ 名古屋部会 (No.8) を開催します

日時：2016年9月17日(土) 15時00分～17時00分

場所：椋山女学園大学 現代マネジメント学部棟(地下鉄東山線「星ヶ丘」駅下車)

内容、参加方法は以下をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/nagoya/Nagoya008flyer.pdf>

■ 大阪部会 (No.50)を開催します

日時：2016年9月24日(土) 18時00分～20時00分

場所：同志社大学 大阪サテライト：大阪市北区梅田1-12-17 梅田スクエアビルディング17階

内容、参加方法は以下をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka50flyer.pdf>

\* 関連団体のご案内です。

・金融広報中央委員会

2016年度 先生のための金融教育セミナー（8月・東京）

8月10日（水）高等学校・大学向け

8月18日（木）小学校・中学校向け

会場：日本教育会館（東京都千代田区）

<https://www.shiruporuto.jp/event/2016/16semi2/>

第13回 金融教育に関する小論文・実践報告コンクール（教員向け）

<http://www.ron2016.jp/>

・野村総合研究所

第11回 NRI 学生小論文コンテスト

テーマ：Share the Next Values! 「世界を変える、新たな挑戦」

高校生の部の受付：2016年7月1日（金）～9月12日（月）です。

<https://www.nri.com/jp/event/contest/gaiyo/index.html>

・金融リテラシー教育フォーラム

8月6日（日）コンベンションルーム AP 東京丸の内 ABC ルーム

金融広報中央委員会の岡崎竜子氏、上智大学の川西諭教授などネットワークの関係者が大学生向けの金融教育に関する報告を行います。

<http://www.practicalmoneyskills.jp/downloads/FinancialLiteracyEducationForum2016.pdf>

---

### 【 3 】 授業のヒント

---

#### ■ 最後通牒ゲーム

今回は、最後通牒ゲームを紹介します。

きっかけとなったのは英国の国民投票です。前回の編集後記で「理性が感情にまけてしまった」と書きましたが、必ずしもそうとは言えないのではというのがこのゲームからわかります。

最後通牒ゲームは、最終通告ゲームともいわれていて名称はたくさんありますが、行動経済学やゲーム理論のなかで登場する次のような仮想の設定からはじまるゲームです。

1000円（金額はいくらでも可）があるとして、提案者となるAさんが、Bさんに、ある金額を提示してふたりでお金をわけようと提案します。例えば、300円と提案すれば、Aさんは700円、Bさんは300円となります。BさんはAさんの提案をうけてもよいし、拒否する自由も持っています。このときあなたがAさんだったらいくら提案をしますか？また、あなたがBさんだったらいくら提案されたら拒否しますか？ただし、この時拒否したら1000円は没収されて、AさんもBさんも1円も受け取ることはできません。この条件で、何回か提案させます。次に、立場をかえて行い、

そこから発見できるものを考察させます。

最後通牒ゲームの本来の目的は、経済学の想定する合理的で利己的な個人がどこまで利他的な要素を持っているかを計測することです。また、合理的に行動する場合にどうしたらよいかの観察にもなります。

期待される合理的な行動は、Aさんが1円以上いくらの金額を提示してもBさんは受諾するというものです。ところが、様々な最後通牒ゲームの実験では、ある金額以下だとBさんが拒否することが報告され、人間は必ずしも合理的に行動する存在ではないということが観察されています。また、地域、民族、宗教などによる違いに関する実験的な研究も進められています。

ここでは、提案を拒否して自分が損をしてもかまわないという気持ちになることはあるのかどうかを確かめることがポイントになります。つまり、国民投票でいえば、ポピュリストの甘言がまずい結果を招くのがわかっているのに、それによってしまう心理、もしくは、離脱反対派のほうがいいことを言っているとわかっているのに拒否してしまう心理をこのゲームから読み取ることが期待されるわけです。

実際にどんな結果になるか。教室実験を7月の定期考査後やってみました。その結果、こんな感想がでてきました。「ゲームで自分は完全に合理的に動いているわけではないと改めて思った。合理的に考えれば、1円以上ならもらった方が得だが、少ない額であれば拒否した方が二人が同じになると考えてしまった。プライドの有無もかわるのだろう。英国のEU離脱に関しては、上の世代ほど離脱派が多かったようだが、それは大英帝国時代の誇りを忘れていなかったのも一因かもしれない。」

なかなか見事な感想です。もちろんすべての生徒がここまで見通せるとは限りません。

このゲームを英国の国民投票に結び付けるのはやや強引な論理かもしれませんが、簡単にできて、人間心理の複雑さを感じさせるゲーム教材として、授業で活用できる場面が多くあると思われます。

ほかにどんな場面で使えるか、先生方が実験されることを期待します。

なお、最後通牒ゲームに関しては、友野典男『行動経済学』光文社新書が手ごろな手引きになるでしょう。

(新井)

---

#### 【 4 】編集後記 (みみずのたはこと)

2001年に出された本を読みました。それにはこうありました。「日本は未曾有の危機の中にある」「新学習指導要領が実施されればこの国は亡びるしかないだろう」。碩学の本で、内容的には全面的に賛成、納得するところが多い本でした。でも思わず「あなたもまた」とつぶやいてしまいました。この種の言説を語らない経済教育でありたいと思いました。(新井)

---

登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>



編集・発行 : 経済教育ネットワーク

(C) Network for Economic Education ◆◇